

問1 沖縄県の離島などで、農業用水を確保するために「地下ダム」という独自の施設が整備されている理由について、地形や地質の観点から説明したものと最も適切な記述はどれですか。 (2017年 沖縄公立入試 類似)

1. 地表に水を通しやすい琉球石灰岩の層が広がっており、降った雨がすぐに地中にしみ込んでしまうため。
2. 年間降水量が極端に少なく、雨水を確保するために大規模な河川を建設する必要があるため。
3. 標高の高い山地が多く、地表にダムを建設すると土砂崩れの危険性が非常に高まるため。
4. 土壌が稲作に非常に適しているが、地表の気温が高すぎて水がすぐに蒸発し、水田が干上がってしまうため。

問2 九州地方の宮崎平野で盛んな促成栽培において、ビニールハウスを用いて野菜の出荷時期を早める最大の目的として、最も適切な理由はどれですか。 (2024年 徳島公立入試 類似)

1. 他の産地からの出荷が少ない時期に市場へ届けることで、より高い価格で販売するため
2. 夏に頻発する台風の影響を避けるために、全ての収穫を春までに終わらせる必要があるため
3. ビニールハウス内で育てることによって害虫の被害を完全に防ぎ、農薬の使用をゼロにするため
4. 成長を早めることで、同じ土地で1年間に収穫できる回数を3回以上に増やすため

問3 日本の都道府県の統計において、長崎県は群馬県と比較すると、面積は約1.5倍小さく、児童数も約3万人少ない状況にあります。しかし、小学校の数に関しては、群馬県の316校に対し、長崎県は343校と上回っています。長崎県において、面積や児童数が少ないにもかかわらず、小学校の数が多くなっている理由として最も適切な説明を選んでください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)

1. 山地が多いため、一つの学校に集まることが困難で、小さな集落ごとに学校を建設しているから。
2. 複雑な海岸線や多くの離島を抱えており、島々に住む児童のために学校を分散して配置する必要があるから。
3. 人口密度が全国的に見ても非常に高く、都市部に多くの小学校を設置しなければならないから。
4. 歴史的な背景から私立小学校の数が非常に多く、公立小学校と合わせて全体の数を押し上げているから

問4 鹿児島県は、全国有数の農業産出額を誇る一方で、その内訳を見ると米の生産割合が非常に低く、畑作や畜産が中心となっています。このような農業の特色が形成された背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)

1. 水はけが良すぎる火山灰土からなるシラス台地が広く分布しており、稲作よりもサツマイモなどの畑作に適していたから。
2. 大規模な干拓事業によって得られた平坦な土地が塩分を含んでいたため、米の栽培を避けて野菜栽培を優先したから。
3. 山間部が多く耕地面積が限られているため、米の生産をあきらめて付加価値の高い果樹栽培に特化したから。
4. 冬の気温が氷点下になる時期が長く、稲の成長が妨げられる冷害の影響を避けるために畜産へと転換したから

問5 福岡空港において、訪日外国人の地域別割合で韓国からの利用者が約半数に達するなど、アジア諸国からの利用が特に多い理由として最も適切なものはどれか。 (2022年 徳島公立入試 類似)

1. 東アジアの主要都市との地理的な距離が近く、短時間での移動が可能であるため
2. 首都圏に近接しており、日本国内の全ての空港の中で最も滑走路数が多いため
3. 欧米諸国との貿易の拠点として、19世紀から大規模な国際空港として整備されたため
4. 空港周辺に広大な農地が広がり、アジア向け農産物の輸出が中心となっているため

問6 九州地方には、火山の噴火によって地表の物質が噴出したり、噴火後に地下のマグマが減少して中心部が陥没したりすることで形成された、広大な円形のくぼ地が見られます。このような地形を何と呼びますか。 (2023年 和歌山公立入試 類似)

1. カルデラ
2. 盆地
3. 断層
4. 三角州

問7 関東地方の卸売市場におけるきゅうりの出荷状況を見ると、福島県産などは夏場に供給のピークを迎えるのに対し、宮崎県産は11月から翌年5月にかけての供給量が多くなっています。宮崎県がこのような出荷時期の調整を行う主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)

1. 他の産地の出荷が少ない時期に販売することで、高い価格での取引を狙うため
2. 夏場に発生しやすい台風の影響を避けるために、栽培時期を冬に限定しているため
3. 冬の乾燥した気候を利用することで、農薬の使用量を抑えた栽培が可能になるため
4. 消費地である関東地方までの輸送コストを、冬の方が安く抑えられるため

問8 鹿児島県を中心に分布するシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモなどの畑作や畜産が中心に行われてきた理由として、この土地の土壌が持つどのような性質が関係していますか。 (2023年 沖縄公立入試 類似)

1. 火山灰が堆積した層でできており、極めて水はけが良いため
2. 粘土質の土壌で水を通しにくく、常に湿地状態であるため
3. 標高が高く年間を通じて気温が低いいため、稲の成長が遅いため
4. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、稲の病気が発生しやすいため

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 地表に水を通しやすい琉球石灰岩の層が広がっており、降った雨がすぐに地中にしみ込んでしまうため。	沖縄県の多くの地域や離島では、サンゴ礁が堆積してできた「琉球石灰岩」が地表を覆っています。この岩層は透水性が非常に高く、梅雨や台風で大量の雨が降っても地表に水が残りにくい（川が形成されにくい）という特徴があります。一方で、その下には水を通しにくい「泥岩」の層があるため、人工的な「止水壁」を作って地下水として貯める手法が、農業用水を確保する最も効率的な手段となりました。
問2	<b>答え 1</b> 他の産地からの出荷が少ない時期に市場へ届けることで、より高い価格で販売するため	野菜の価格は、市場に出回る量（供給量）が少ないときに高くなる傾向があります。促成栽培は、冬から春にかけての本来は収穫が難しい時期に野菜を出荷することで、競争相手が少ない状況を作り出し、農業経営の収益性を高めることを目的としています。
問3	<b>答え 2</b> 複雑な海岸線や多くの離島を抱えており、島々に住む児童のために学校を分散して配置する必要があるから。	長崎県は日本で最も多くの島（離島）を持つ県であり、海岸線の長さも北海道に次いで2位となるほど複雑です。義務教育においては、児童の通学の負担を考慮し、居住地域ごとに学校を配置する必要があります。そのため、人口や面積の規模が他の県より小さくても、各離島に学校を維持しなければならないことから、結果として小学校の数が多くなるという地理的な特色があります。
問4	<b>答え 1</b> 水はけが良すぎる火山灰土からなるシラス台地が広く分布しており、稲作よりもサツマイモなどの畑作に適していたから。	鹿児島県には、過去の火山活動による噴出物が堆積してできた「シラス台地」が広がっています。この地質は非常に水はけが良く、稲作に必要な水を保持しにくいという性質があるため、伝統的に水田よりも畑作が盛んになりました。現在では、この広大な土地を利用して、サツマイモや茶などの畑作、そして肉用牛や豚、鶏などの畜産が大規模に行われており、日本の食料供給基地としての役割を担っています。
問5	<b>答え 1</b> 東アジアの主要都市との地理的な距離が近く、短時間で移動が可能であるため	福岡市は「アジアの玄関口」とも呼ばれるように、韓国のソウルや釜山、中国の上海といった東アジアの主要都市に非常に近い位置にあります。特に韓国とは、東京へ移動するよりも短時間で往来できる場合があり、格安航空会社（LCC）の就航も盛んなことから、アジア圏からの観光客が利用しやすい環境が整っています。この地理的優位性が、特定の国からの高い利用割合に結びついています。
問6	<b>答え 1</b> カルデラ	九州地方の阿蘇山などに代表される地形で、ポルトガル語で「鍋」を意味する言葉に由来しています。大規模な噴火によって地表が陥没することで形成され、その内部に平坦な土地が広がるのが特徴です。周囲を山に囲まれた「盆地」と形状は似ていますが、火山の活動が直接的な原因となって形成される点で区別されます。
問7	<b>答え 1</b> 他の産地の出荷が少ない時期に販売することで、高い価格での取引を狙うため	農産物は市場に出回る量（供給量）が少ない時期ほど、価格が高くなる傾向があります。宮崎県では、冬でも暖かい気候や施設園芸の技術を活用し、多くの地域が栽培できない冬から春にきゅうりを出荷することで、競争を避け、農家の収益を高める工夫をしています。これを促成栽培と呼び、地理的な利点と市場経済の仕組みを組み合わせた農業経営の一環です。
問8	<b>答え 1</b> 火山灰が堆積した層できており、極めて水はけが良いため	シラスの層は粒が粗く隙間が多いため、水が地下へ浸透しやすく、表面に水を溜めておく必要がある水田稲作には不向きな土地でした。そのため、乾燥に強いサツマイモや茶の栽培、あるいは広大な土地を活かした豚や肉用牛の飼育といった畜産業が発展する背景となりました。